

平成28年度 地域連絡会議

- 日時 平成28年11月28日（月） 午後4時00分から午後4時30分
場所 国立病院機構やまと精神医療センター 研修棟1階研修室
議題 1. やまと精神医療センターの運営状況
2. 医療観察法病棟（5病棟）の運営状況
3. その他

院長挨拶

本日は、ご多忙のなか、やまと精神医療センター地域連絡会議にお集まりいただき誠にありがとうございます。

平成22年8月の医療観察法病棟開棟より、今年で6年目が経過いたしました。皆様からもご意見・ご協力を賜りまして、現在まで大過なく運営できておりますことを、深く感謝申し上げます。

今後ともご指導ご鞭撻、よろしく願いいたします。

議題1. やまと精神医療センターの運営状況

・患者数の状況

当院には3種類の病棟がございます。一般的な精神病棟が3つで計148床、重症心身障害病棟が2つで計100床、そして医療観察法病棟が1つで35床の、計283床でございます。

本年度の入院患者数は、10月末時点で、一般的な精神病棟は平均124.2名、重症心身障害病棟は平均100.6名、医療観察法病棟は平均32.2名となっています。

外来患者数は、一日平均74.3名、このうち精神科の外来リハビリ、すなわちデイケア等の方が16.4名となっています。

・運営状況

既に重症心身障害病棟の建替、CT、MRIの更新も終え、大きな整備は一段落している状況です。

現在は、2025年問題に向けて国が推し進めている地域包括ケアシステムに関し、外来患者に行っている訪問看護を、ステーションとして事業所の登録を進めています。

精神科の訪問看護を充実させることで、在宅の精神科患者様が安心して過ごせるようにしたいと思っております。

また、地域活動としてイオンモール大和郡山で健康フェアを毎年開催し、少しでも地域の皆様の健康増進にお役に立てればと思っております。

《質疑応答》

なし

議題 2. 医療観察法病棟（5病棟）の運営状況

・入院患者の内訳

月別の入・退院患者数と在院患者数について、10月末現在で34名の対象者が入院されております。

年代別では20代から50代の方が多く、女性は全体の2割程度です。

地域別では、現在は全て近畿圏内の方です。府県別では、多い方から大阪、兵庫、京都、奈良、和歌山となっています。

対象行為別では、傷害（傷害致死を含む）が最も多く、次いで殺人（殺人未遂を含む）放火、強制わいせつの順となっています。

精神疾患別では全体の約7割の方が統合失調症や統合失調症に関連する精神症状です。それ以外にはアルコール性や中毒性の精神疾患の方もおられます。

医療観察法の入院医療は入院当初の急性期から回復期、社会復帰期とステージ別に分けられ、それぞれのステージの治療課題が達成できれば、次のステージへ、ステージアップする方式となっています。

10月末現在では回復期の方が最も多く20名、次いで社会復帰期の方が9名、急性期の方が5名となっています。

開棟当初から、現在まで入院が94名、退院が60名です。退院のうち、他の病院（指定入院医療機関）への転院が4名、医療観察法上の通院処遇へ移行された方が43名、処遇終了とって医療観察法での医療を終えた方が12名おられます。

外出、外泊および院内散歩については、合わせて毎月20件程度行っております。

隔離・拘束件数について、隔離は治療の一環として、必要な場合には部屋に鍵をかけて安静を図ってもらうものです。今年度の隔離件数は3名で7件ありました。拘束はベッド上での拘束を行うものですが、今年度は0件で、これまでもほとんど行っておりません。

《質疑応答》

関) 医療観察法病棟の対象者の方は、病状的にかなり対応が難しい事例が多いと思いますが、隔離・拘束の件数について、一般の精神病棟と比べても率として低いのではないかという印象がありますが、いかがでしょうか。

セ) 一般の精神病棟よりは、隔離・拘束は少ないと思います。病状的には、なかには激しい方もおられますが、スタッフの人員が多いこともあり、常時観察とって常にスタッフが張り付くような体制も取れますので、可能な限り行動制限はしない

方法で治療を進めています。

自) 病院の北側の地域ですが、時折病棟の窓を叩くような大きな音がするというこ
とを、住民の方が言われているのですが、病院では認識されていますでしょうか。

セ) 医療観察病棟の対象者の方では、現在、窓を叩いたりするという方はおられな
いようです。構造上外に音も漏れにくく、位置関係的にも医療観察病棟ではないと
思われます。一般の精神病棟か、もしくは重症心身障害病棟の方かも知れません。
今後対応について注意して運営いたします。

それでは、以上を持ちまして地域連絡会議を終了いたします。

次回の開催も、次の1年間の実績を踏まえた報告を、来年の同時期にご案内したい
と考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

以 上